

エコアクション21

環境活動レポート

平成29年度 第5版

実施期間 平成29年4月～平成30年3月

有限会社金光産業

発行日 平成30年8月5日

◇会社概要

事業者名及び代表者名

有限会社 金光産業
代表取締役 金城義光

本社

〒904-2142 沖縄県沖縄市字登川 2962

TEL/FAX098-939-1929

平成 28 年 9 月 本社・事業所統合

事業規模

設立：平成 15 年 7 月 14 日法人登記

資本金：300 万円

年商：6800 万円（平成 29 年度 第 15 期）

事業年度：7 月～6 月

社員：7 名

延べ床面積：20 m²

産業廃棄物の収集運搬量：約 818 t（平成 29 年度）

中間処理量：815 t

事業内容

産業廃棄物収集運搬・中間処理業

環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：金城義春

担当者：金城義春

TEL/FAX：098-939-1929

対象範囲

全組織・全活動

◇許可番号及び登録書

産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号第 04702132867 号

許可の年月日：平成 28 年 12 月 20 日

許可の有効年月日：平成 33 年 12 月 19 日

事業の範囲

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、
木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、
コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
(これらのうち石綿含有産業廃棄物であるもの及び特別管理
産業廃棄物であるものを除く。積替え保管を含まない。)

産業廃棄物処分業許可証

許可番号第 04722132867 号

許可の年月日：平成 28 年 5 月 20 日

許可の有効年月日：平成 33 年 5 月 19 日

事業の範囲

中間処理（油水分離）：廃油
(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)

事業の用に供するすべての施設

油水分離施設

設置場所：沖縄市字登川平田原 2962 番 1

設置年月日：平成 21 年 11 月 1 日

処理能力：4.8 m³/日

保管施設

設置場所：沖縄市字登川平田原 2962 番 1

(廃油)

保管面積 1.44 m² 保管上限 1700L 保管高さ 1.35m (少量タンク)

保管面積 1.12 m² 保管上限 950L 保管高さ 0.955m (少量タンク)

屋外タンク貯蔵所 (縦置円筒型) 12000L×3 基

◇車両リスト

車両の種類	数量	車両の種類	数量
12.0kℓ タンクローリ	2	4 t 車 バキュームダンパー	1
3.8kℓ バキュームローリ	1	2 t 車 クレーン付ダンプ	1
3.7kℓ バキュームローリ	1	営業車	3
3.0kℓ バキュームローリ	2		

*タンクローリ、バキュームローリ車両は消防法に基づく定期的な圧力検査を行っています。

◇生産工程の概要

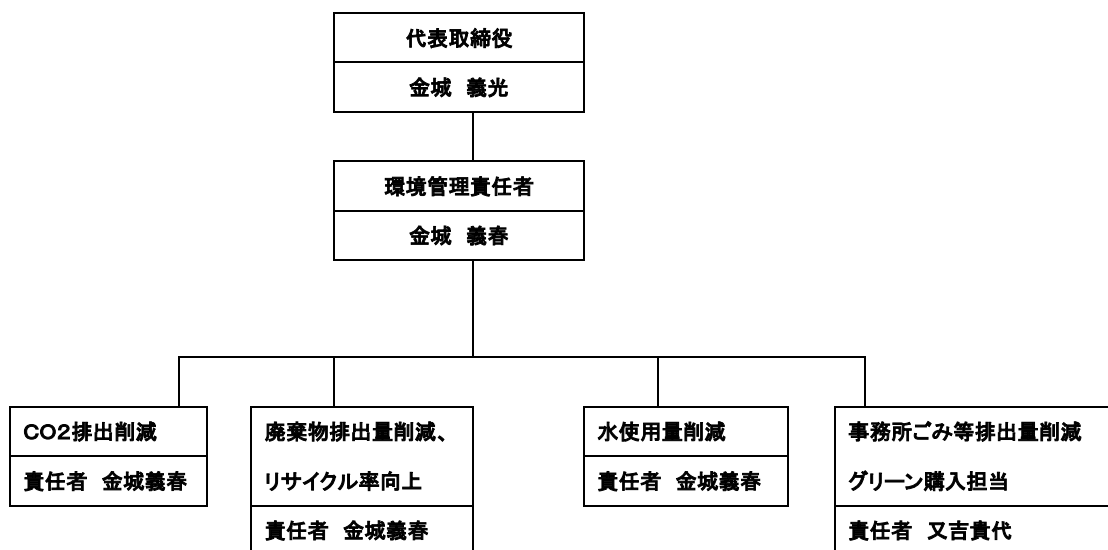
廃油 → 貯蔵 → ろ過装置+振動篩機 → 油水分離機 → 製品 → 貯蔵 → 販売

◇事業計画の概要

潤滑油系廃油をろ過装置・振動篩機・油水分離機を使って、再生重油として事業者提供している。

廃油の収集・運搬及び再生重油の取引先への供給は自社車両で行っている。

◇実施体制図



環境方針

有限会社金光産業は、限りある資源の再生利用及び産業廃棄物の適正処理を通して、循環型社会の構築に努め環境に配慮した事業活動を行っており、持続可能な社会の形成に寄与するため次の活動に取り組みます。

～活動指針～

1. 環境関連法規制等を遵守します。
2. 受託した産業廃棄物（鉍物油）の再生資源化に取り組みリサイクル率の向上を図ります。
3. 収集運搬車両のエコドライブを実践し、二酸化炭素の抑制に取り組みます。
4. グリーン購入・廃棄物の削減、節水及び節電に努め、省エネルギーを推進します。
5. 環境教育を全従業員に行い、環境保全に対する意識の向上と活動に努めます。

上記内容について、環境目標・環境活動計画を設定し、環境活動レポートを作成・公表し、定期的な見直しを行い断続的改善に努めます。

平成 25 年 12 月 1 日
有限会社 金光産業
代表取締役 金城義光

◇環境目標

H26年度を基準年として毎年1%ずつ削減します。

*事業年度：4月～3月

*購入電力の排出係数：0.816kg-CO₂/kWh

*化学物質の取り扱いはありません。

環境目標	単位	H26年度 4月～3月 基準値	H27年度 4月～3月	H28年度 4月～3月	H29年度 4月～3月	H30年度 4月～3月	H31年度 4月～3月
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	79720	78923	78134	77353	76579	75813
一般廃棄物総排出量	t	0.09	0.08	0.07	0.06	0.05	0.04
産業廃棄物総排出量	t	37.3	36.9	36.5	36.1	35.7	35.3
水資源投入量（雨水）	m ³	30	29.7	29.4	29.1	28.8	28.5
グリーン購入の推進	コピー用紙は再生紙、営業車はエコカーを導入、LED電球への切替えを段階的に行うなど、環境に配慮した物品を優先し購入する。						
廃油リサイクル率	排出業者へ分別による産業廃棄物の発生抑制を促し、受入れ廃油のリサイクル率の向上に努めます。（目標95%以上）						

※水資源は雨水のみ使用しています。

◇環境実績

実施期間における環境実績は以下の通りです。

実績項目	単位	H26年度 4月～3月 基準値	H27年度 4月～3月 (達成率)	H28年度 4月～3月 (達成率)	H29年度 4月～3月 (達成率)	H30年度 4月～3月 (達成率)	H31年度 4月～3月 (達成率)
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂	79720	50376 (136%)	49183 (138%)	726178 (108%)		
一般廃棄物総排出量	t	0.09	0.07 (122%)	0.07 (122%)	0.06 (133%)		
産業廃棄物総排出量	t	37.3	25.24 (132%)	19.89 (146%)	14.67 (160%)		
水資源投入量（雨水）	m ³	30	25 (116%)	24 (120%)	24 (120%)		
グリーン購入の推進 (達成率)	コピー用紙（再生紙）		100%	100%	100%		
	エコカー導入		100%	100%	100%		
	LED電球切替		20%	40%	50%		
廃油リサイクル率	目標95%以上		97%	96%	98%		

◇環境活動計画

環境活動計画の内容は以下のとおりです

項目		活動内容
二酸化炭素排出量削減	電気	<ol style="list-style-type: none"> 1、節電（使用しない部屋の照明はこまめに消します）。 2、電気機器PC等は省エネモードに設定し、使用後は電源オフにします。 3、段階的にLED電球に切替えを行います。 4、夏場のエアコンの温度27℃±1とし、エアコンフィルターを定期的に清掃します。暖房はなるべく使用しません。
	燃料	<ol style="list-style-type: none"> 1、車両の運行前点検を毎日行います。 2、予め目的地までの最短ルートを計画し、無駄な走行はしません。 3、車両整備（法定点検）を確実に実施します。 4、省エネ運転（エコドライブ）を実行します。 ◎急発進、急ブレーキ、急加速を禁止します。
水資源投入量削減	水	<ol style="list-style-type: none"> 1、全社員の節水意識を高め、実行します。 2、雨水配管のチェック、メンテナンスを定期的に行います。 3、洗車時に水の出しっぱなしを禁止します。 4、業務終了後の、こまめなふき取り洗車をすることで水資源の使用を削減します。 5、トイレ流水の節水をします（タンクにペットボトルを入れるなど）。
廃棄物排出量削減	産業廃棄物	<ol style="list-style-type: none"> 1、廃油、廃タイヤ、廃バッテリー、廃鋳金部品など分別を徹底します。 2、金属くず等の再利用可能な部分を分別し、産業廃棄物の排出抑制に努力します。 3、産業廃棄物排出時の manifests の保管と管理を行います。
	事務所ゴミ	<ol style="list-style-type: none"> 1、ゴミを最小限にする環境活動の意識、分別を徹底しリサイクルの意識を共有します。 2、紙の使用を少なくするために裏紙も活用します。 3、インクトナー等は業者に引き取ってもらいます。
環境活動	グリーン購入	<ol style="list-style-type: none"> 1、消耗品、事務用品などは環境にやさしい商品を優先購入します。 2、エコカーに切り替えるように努めていきます。
	リサイクル率	<ol style="list-style-type: none"> 1、社内の5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）を常に行います。 2、排出事業者に対し、分別排出による産業廃棄物の発生抑制と、再利用の取り組みを促し、リサイクル率の向上に貢献します。

◇環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組

① 二酸化炭素排出量の削減

環境活動	取組内容	評価と次年度の取組
電気使用量の削減	節電	節電意識も定着し、目標を達成できた。 次年度も、エアコンの温度管理や清掃、省エネタイプの照明に順次切替えるなど、引続き節電に取り組む。
燃料使用量の削減	エコドライブ、 収集運搬ルートの見直し	営業等によるガソリンの使用量は昨年より増えたが、目標は達成できた。 エコドライブの継続、次年度も引続き環境に配慮した効率の良い業務内容にする。

② 廃棄物排出量の削減

(産業廃棄物)

産業廃棄物の削減	分別の徹底と排出量の削減、リサイクルの徹底	リサイクルする廃油の分別を排出事業者に徹底してもらい、廃棄処理するゴミの量を大幅に減少できた。次年度も引続き廃棄物の排出を抑制し、分別の徹底、リサイクル率の向上に取り組む。
----------	-----------------------	--

(事務所ゴミ)

事務所ごみの削減	分別の徹底とリサイクルの徹底	分別の徹底と、再利用可能な物品を使用する意識が定着してきている。次年度も、引続き削減に取り組む。
----------	----------------	--

③ 水資源投入量削減

水資源の削減	節水	引続き雨水を使用し、次年度も水資源の投入量削減に取り組む。
--------	----	-------------------------------

④ グリーン購入の推進

環境に配慮した製品の購入	省エネタイプの車両入替えや、環境に配慮した事務用品・製品等を優先して購入した。次年度も引続き、グリーン購買活動を行う。
--------------	---

⑤ リサイクル率

分別の周知徹底と 廃油リサイクル率の向上	排出業者に対して分別排出の周知をしているが、年々、環境への配慮やリサイクルへの意識が高まってきている。 次年度も引続き目標の達成に向けて周知徹底を行う。
-------------------------	---

◇環境関連法規制の違反、訴訟等の有無

* 環境関連法規一覧及び遵守状況

平成 29 年 8 月

主な適用法規	遵守状況	取組
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵守	許可の届出、廃棄物の適正な処理、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、委託基準を遵守した業務を遂行する。
消防法	遵守	政令に従って業務を行い、設備の設置器具の日常点検・車両定期整備検査、タンクローリーの 5 年毎の圧検査を確実に行う事と、常に整理整頓を行い、火災予防に努める。
道路交通法	遵守	交通の安全と円滑を図り、道路の交通に起因する障害の防止に努める。
グリーン購入法	遵守	グリーン購入法のガイドラインに習い、環境活動に配慮した製品等の優先的な購買活動を今後も努力する。
浄化槽法	遵守	保守点検、清掃を年 1 回以上、法定検査を年 1 回行う。

* 環境関連法規の違反

環境関連法規への違反は、過去にありません。

* 苦情・訴訟について

地域住民からの苦情・訴訟はありません。

緊急事態等対応手順書

作成年月日 平成 29 年 7 月 1 日

緊急事態等の種類	自然災害・運搬事故・人身事故・ 運搬車両等故障（不具合）
予想される事態	※火災 ※廃棄物の飛散・流出 ※車両事故 ※二次災害
予想される環境影響	火災による二酸化炭素排出や、河川への油の流出。
体制及び責任者	環境管理責任者：金城義春 危機管理対策を徹底し、全社員へ周知徹底する。
対応手順	① 負傷者の確認。 ② 各署への通報（消防・警察）。 ③ 災害及び事故状況を会社（責任者）へ連絡し、警察・消防が到着するまで、被害・災害を拡大させないよう可能な限り必要な応急処置を行う。
有害物質の状況	取り扱いなし。
事態終了後処理策	事態終了後、すみやかに報告書を作成する（緊急事態等対応記録書）。
その他	・ 車両及び施設内に設置の消火器は、使用期限チェックを行い、緊急時に備える。 ・ 車内には、ウエス及び油吸着マットを完備し、緊急時に備える。

◇代表者による全体の評価と見直し

* 取組状況の評価及び結果

E A 2 1 環境への負荷の削減に取組み始め、収集運搬ルート、渋滞等の状況や運転方法に従業員が個々に考え環境に配慮し、業務・行動している事を評価する。今後も全従業員でスキルアップし、継続的な環境活動と保安全管理・訓練を実施し、更なる経営システムの向上にも取組んでまいります。

平成 29 年 8 月